



2018・11・1

第 322 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

自民党がすべての小選挙区に改憲推進本部

今度は 3 権分立の原則に挑戦

安倍首相は 10 月 24 日、臨時国会冒頭の施政方針演説で、次のように改憲論議のあり方について言及しました。いよいよ 3 権分立の立憲主義の原則も無視して 9 条改憲に向けた暴走を加速させる構えです。

× × × × × ×

まさに歴史の転換点にあつて、平成の、その先の時代に向かって、日本の新たな国づくりを、皆さん、共に、進めていこうではありませんか。

国の理想を語るのは憲法です。憲法審査会において、政党が具体的な改正案を示すことで、国民の皆様を理解を深める努力を重ねていく。そうした中から、与党、野党という立場を超え、できるだけ幅広い合意が得られると確信しています。

民間団体による連絡会議設立も

自民党の下村弘文憲法改正推進本部長は 26 日、記者団に全国 289 の衆院小選挙区に憲法改正推進本部を設置する考えを明らかにしました。山口泰明組織運動本部長と連名で、年内の設置を文書で要請するとして

います。

要請文書には自民党がまとめた自衛隊明記など 4 項目の改憲案についての理解を広めるため支部ごとに研修会を開くことや、世論を喚起するため民間団体との連絡会議の設置などが盛り込まれています。

本格的に改憲のための国民運動を展開する構えです。

9 条署名開始 10 年で 1 万人突破

【宮城県仙台市／仙台駅東 9 条の会】 仙台駅東 9 条の会はこのほど、9 条賛同署名から安倍 9 条改憲ノーの「3000 万人署名」まで、取り組んだ 9 条署名が計 1 万人を突破しました。

同会は 2008 年の結成以来、仙台市宮城野区内の生協前で毎月宣伝。昨年 9 月からは市内の繁華街で宮城県内九条の会連絡会の宣伝と合流し、3000 万人署名活動に取り組んでいます。

署名に協力してくれる医院や団体に用紙を置かせてもらい、毎月回収しています。

家族に現職の自衛官がいるという女性は「戦場に回されて命を奪われたら本当に困

ります。あなた方が頼りです」と署名。「署名を持ち帰って教室で集めます」という高校生も。日本語学校に通うアジアの国の留学生はカタカナで署名していきます。

憲法生かしてハッピーな日本を

【宮城県／みやぎ青年9条の会K I R A K I R A☆9】 「ウィ、ラブ、憲法」「市民の力で政治を変えよう」一。抜けるような秋晴れが広がる仙台市で21日、青年の声が響きました。みやぎ青年9条の会K I R A K I R A☆9の主催する「憲法生かしてハッピーパレード」です。

カラフルな手づくりのプラカードを手に青年らが市民に訴えると、手を振る市民や拍手をする女性など多くの市民が注目しました。

出発前の集会では代表して、岩渕大地さんが、「平和な世界はもちろん、多くの自由とたくさんの権利が盛り込まれた憲法を生かし、みんながハッピーな日本にしましょう」とあいさつしました。

みやぎ憲法9条の会の板垣乙禾生事務局長らが連帯のあいさつをし、安倍首相が自衛隊の改憲に含みを持たせた発言をし、憲法遵守の意識のかけらもないと批判しました。

「安倍ごうまん政治」に批判

【札幌市西区／戦争させない札幌西区市民の会】 「沖縄県知事選での歴史的勝利に続こう」と、札幌市西区の戦争させない札幌西区民の会」は8日、安倍9条改憲反対3000万人署名を呼びかけまし。

会員が大型プラスター「ごうまん・お友

だちファースト憲法無視・安倍政治NO」や「戦争は最大の人権侵害9条改憲を許さない」の横断幕、のぼりを掲げた地下鉄琴似駅前。「憲法と平和を守る署名です」と声をかけて訴えました。

「憲法を変えるより台風や地震での被災者にあたたかい手を差し伸べるべきです」と安倍政権を批判する女性が怒りを込めて署名。70歳の女性は「これまで親の言う通り自民党を支持してきたけれど、安倍首相の『ごうまん』ぶりは本当におかしい。戦争をするのではと心配です」と話してペンを握りました。

「ヒバクシャ国際署名」を一緒に呼びかけました。「日本は被爆国なのに、どうして批准しないのでしょうか」と不思議がる男性が署名しました。

1時間の署名が70筆突破

【東京都国分寺市】 《国分寺9条の会》

10月9日（火）、15時からの西国分寺駅での恋ヶ窪9条の会の行動につづいて1時から国分寺駅南口で国分寺9条の会月例の駅頭宣伝が行われました。市民が沖縄県知事選での玉城デニーさんの勝利に勇気づけられていること、安倍政権に対する怒りがみなぎってきていることを実感させられました。「東経大OB・OG九条の会」の方々も参加されスピーチしました。「1時間で署名70筆超え」はこれまでにないことです！

《市民連合@国分寺》 市民連合@国分寺もがんばっています！

9月22日ルネ小平で衆院選19区の3市の市民連合が共同して大集会を開きました。16年に発足した国分寺につづいて小平・西

東京でも市民連合が結成されたのを機に、「次期総選挙で19区では自民党・松本氏を打ち破って必ず議席を獲得すること」「来年の参議院選挙で自公や安倍政権追随勢力を少数に追い込むこと」を目指す活動がスタートしました。

200人を超える参加者（国分寺からも50人余）は、高田健さん（市民連合呼びかけ人）の「九条改憲発議阻止と市民連合の役割」と題する講演を聴き今後への確信を深めました。（国分寺9条の会・事務局「輝け憲法九条」NO167）

日曜市で署名・宣伝、大きな反響

【徳島県／徳島・市民アクション】「安倍9条改憲NO！徳島・市民アクション」は28日、徳島市の日曜市で宣伝し、3000万人署名に取り組みました。3時間で222人分の署名が寄せられました。

上池大三郎事務局長らが「9条を守ろう」「平和を願う国民の声を国会に届けよう」と呼びかけ。「戦争はいかん」「9条を守らなね」と市民が次々と署名に応じました。

署名した市内の会社員の男性（53）は「すでに戦争法などの法律が作られており、自衛隊の明記を許せばなし崩しにされる。とんでもない」。同市の女性（40）は「70年間（平和憲法で）やってきたのだから、今のままでいい。子どもたちに（9条を）残したい」と語りました。

鳴門市の女性（61）は、「徴兵された叔父から、銃弾も食料もないなかでたたかひ命を落とした何人もの戦友の指を切り取って日本に持ち帰った体験を聞かされた。息子たちをそんなに目にあわせたくない」と話

しました。

【川崎市多摩区生田／生田9条の会】

9年目の9月9日9時9分

森田忠正（登戸在住）

「憲法9条を守ろう」という平和の鐘つきは、長念寺（登戸の浄土真宗本願寺派）小林泰善住職のご厚意で2010年に始めて9回目となりました。鐘つきの後は長念寺の本堂をお借りして、毎年宗教者からみた平和についてのお話を伺っています。小林泰善住職には、お話や対談で参加していただき、他に登戸新約バプテスト教会の田嶋郁雄牧師（2012年）、浄土真宗本願寺派万行寺住職・仏牧者九条の会の本多静芳氏（2013年）、登戸エクレシヤキリスト教会のアメリカ人ティム・ヒューバー牧師（2015年）、生田教会の禿準一牧師（2017年）など多彩な方々のお話を聞いています。

今年はお寺が法事で本堂がお借りできないため、1部は平和の鐘つき、2部は戦争体験を聞く会としました。1部の鐘つきは例年を上回る80人（タウンニュースの記事による）もの参加者。「子や孫を戦場に送らない」と声に出す方や思いを心で祈って鐘に託す方など、参加者全員が平和の願いを込めて鐘をつきました。

2部は、多摩市民館で「戦争体験を聞く会」を開催。今回は今まで参加したことのない地元に住む20人以上の姿が見られました。お話は登戸に住む手塚七五郎さん（89）、川崎大空襲の語り部・萩坂登久子さん（86）、元登戸新町町内会会長の伊藤順健さん（86）の3人。手塚さんは海軍なのになぜか高野山に立てこもり、終戦後も人間魚雷特攻隊員の

訓練を続けた話。伊藤さんは元自衛隊の一等陸佐で連隊長などの指揮官。私たちとは日頃あまりお付き合いのない方ですが、私のたっぺのお願いでお話してくれました。当時 13 歳で旧制中学 1 年生の時、昭和 20(1945)年 4 月 13～14 日の東京大空襲で豊島・向島・深川などに焼夷弾 2000 発以上、戦災家屋 20 万以上の被害を受け逃げる時の体験談。住んでいた豊島区巣鴨から逃げるとき、東の空か明らんでくる頃、防火用水に母親が乳飲み子を抱いて片足を突っ込んでそのまま黒焦げの姿を見て、今でも寝ても覚めても思い出すという。

伊藤さんは聞く会では語らなかったが、私との話でやっぱり戦争はしちやあいけない。平和がいいよ、平和が一番としみじみ語っていました。

(「生田 9 条の会ニュース」第 72 号)

笠木透さんの生き方に学びつつ

【岐阜県／岐阜・九条の会】 岐阜市で 23 日、岐阜県出身のフォークシンガー・故笠木透さんといっしょにコンサート活動を続けてきた「雑花塾」の増田康記さんを招いたつどいが開かれました。主催は岐阜・九条の会「サロン 9 条例会」。

増田さんは、笠木さんが高校時代、民主的な先生に出会いロシア民謡や労働歌を通じて政治、社会にめざめ、列車の中で署名を集めて回るなど、貧しかったが創造力豊かな人間だったとユーモアを交えて紹介し、笠木さんの曲「海に向かって」「私に人生といえるものがあるなら」から、地元の歌「長良川」まで思い出の曲をギターやハーモニカを使って歌い上げました。

増田さんは、沖縄知事選勝利を喜び、民意無視の安倍政権を批判。「憲法の理想に近づける努力こそが大切」だと笠木さんの歌に込められた「文化でたたかう」ことを強調しました。

参加者から「笠木さんがこんなに多くの歌を出していることは知らなかった。本当にすばらしい人だ」と感想が寄せられました。

岐阜・九条の会代表の吉田千秋さんは「笠木さん、みんなはあんたといっしょに、あんたはみんなといっしょに生きているよ。いつまでも」とお別れコンサートのメッセージを紹介しました。

投稿

「九条の会」事務局御中

初めてメールを差し上げます。松本(69才)と申します。

平和憲法は日本のそして世界の宝。そのお蔭で戦後日本は大いに躍進した。その土台が憲法 9 条ですね。日本は戦争を放棄、軍事力を持たない国として世界に知られ亘り、その結果、平和な安全な楽しい国として多くの世界の人から認知され観光も含め世界交流が多くなった。

憲法 9 条を記した手製の手鏡を作り(2つだけですが)、小さなバザーで売り、買って下さった方(私は直接お会いしておりませんが)に、憲法 9 条による平和活動に寄付すると約束しました。

わずかですが、活動資金の一助にさせて頂きたく郵便局で振込するように致します。

今後とも微力ながら私も活動を続けます。

神奈川県厚木市在住 松本正